

Sustainable Development Goals #01

福島第二中 × SDGs

福島市立福島第二中学校では、授業や生徒会活動など、学校生活全てにSDGsが関連していると捉え学習しています。生徒会長の五十嵐冬羽^{とわ}さんが取組について紹介してくれました。



生徒会活動



【シンボルのタペストリー】

昇降口を入ると左にタペストリーが掲示してあります。「私たちが主役のSDGs」をテーマに、中学生として「何ができるか」を考え、全校生が興味をもてるようにしています。身の回りのことや地球全体のことを考えていくシンボルになっています。

原画は美術部の松本優さんが作成しました。福島第二中学校の校章や生徒の姿を表した「^{けい}蛍章 健児」にちなみ、シンボルの「^{けい}蛍」やSDGsの17の目標の色を用いて作成されています。生徒会本部と各委員会が連携し、自分たちの活動はSDGsの17の目標のどれに当たるのかに視点を置きながら活動を行っています。



総合的な学習の時間

3年生の取組を紹介します。3年生は、1年生のときに「福島復興の担いづくり」をテーマに再生可能エネルギーや水素エネルギーについて学びました。福島空港メガソーラー発電所や産総研福島再生可能エネルギー研究所を訪れ、実際に施設を見たり、触れたりして学びました。2年生のときには、福島第二中学校の卒業生でもあるJAXA宇宙科学研究所准教授理学博士の春山純一氏の月探査の講演を聞きました。3年生の修学旅行では、つくばのJAXA宇宙センターやCYBERDYNE(株)のリハビリ用ロボットを見学し、産業や技術革新についても学びます。

今年の6月には、これまで「何を学んだのか」を個人研究としてまとめ、自作フリップによる発表会を行いました。フリップは文化祭で展示する予定です。1人1台タブレットが使えるようになったことで、これまで以上に調べる内容も充実しました。また、発表を動画に撮り、国語科の授業の教材として、より良い発表にするにはどうしたらよいかも学んでいます。



【3年生のこれまでの学びの履歴】



【個人研究発表の様子】



【生徒が作成したフリップ】

2年生はグループに分かれて、食品ロスや地球温暖化などSDGsの視点で調べ学習に取り組み、ポスター作成を行いました。

また、1年生は防災学習を行っていますが、上級生の学習の様子を見て、「どのように学ぶのか」見通しをもち学習意欲を高めています。

福島二中は、伝統として先輩から後輩へ委員会活動などのノウハウを受け継いでいます。現在コロナ禍のため、地域の清掃活動など取り組みたいアイデアはあってもできないことがあります。私たちが取り組んでいることを、後輩が引き継ぎ、さらに発展させてくれると思います。



五十嵐さん



【2年生のグループ研究】